

あすへの

考

編集委員 石崎浩

高度成長期に就職し、豊かな日本を築くことに貢献した。現在順次、75歳になる。このため、75歳以上の人口は今後3年間、毎年約4%ずつ増え、「高齢者の高齢化」が急速に進む見通しだ。

団塊世代は1947~49年の3年間で約800万人が誕生した。1年当たりの出生数は約270万人で、現在の3倍以上だった。

団塊世代が誕生したばかりの1950年、人口ピラミッドは安定した三角形だった。2022年に

は、団塊世代と、50歳前後の団塊

ジニア世代のところが大きく張り出した、不安定なタワー型に変

わる(図表)。

「75歳」が注目されるのは、人間の身体状態がその頃から大きく

変わりやすいからだ。健康上の問

題で日常生活を制限されない「健

康寿命」は、平均で男性72・14歳、

女性74・79歳。つまり75歳前後か

ら医療や介護の必要性が高まる。

社会保障に関して、まず心配な

のは、医療や介護を担う人材が一

段と足りなくなることだ。

「団塊世代が全て75歳以上にな

る25年度までに、介護職員を32万

人増やす必要がある」。厚生労働

省は7月、こんな推計を公表した。

介護の現場で働く人は、仕事が

きつい割に賃金が低く、扱い手不

足が深刻だ。既に現場では、ホー

ムヘルパーの訪問

回数が減らされ

たり、特別養護

老人ホームが職

員不足で閉鎖に

追い込まれたり

する事態が生じ

ている。このままだ

と都市部を中心に

「介護難民」が急増

しかねない。

しかも、25年には高齢者の5人

に1人が認知症になると予測され

ている。家族の負担が重くなり、

現在でも年約10万人とされる介護

離職がさらに増える懸念がある。

医療では、看護師不足が著しい。

厚労省の推計によると、25年には

高度成長期に就職し、豊かな日本を築くことに貢献した。現在順次、75歳になる。このため、75歳以上の人口は今後3年間、毎年約4%ずつ増え、「高齢者の高齢化」が急速に進む見通しだ。

団塊世代が誕生したばかりの1950年、人口ピラミッドは安定した三角形だった。2022年に

は、団塊世代と、50歳前後の団塊

ジニア世代のところが大きく張り出した、不安定なタワー型に変

わる(図表)。

「75歳」が注目されるのは、人間の身体状態がその頃から大きく変わりやすいからだ。健康上の問題で日常生活を制限されない「健

康寿命」は、平均で男性72・14歳、女性74・79歳。つまり75歳前後から医療や介護の必要性が高まる。

社会保障に関して、まず心配なのは、医療や介護を担う人材が一段と足りなくなることだ。

「団塊世代が全て75歳以上になれる25年度までに、介護職員を32万人増やす必要がある」。厚生労働省は7月、こんな推計を公表した。

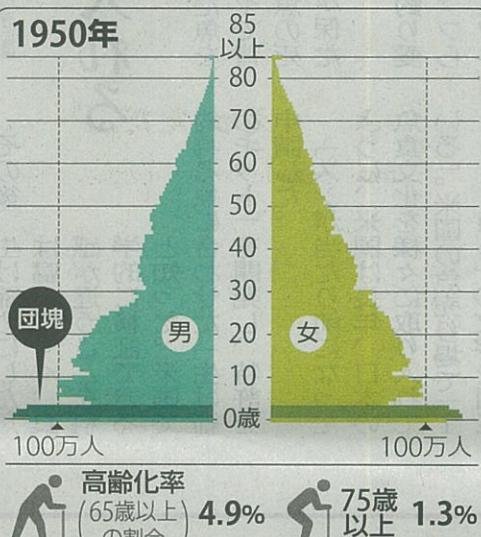
介護の現場で働く人は、仕事がきつい割に賃金が低く、扱い手不足が深刻だ。既に現場では、ホームヘルパーの訪問

回数が減らされたり、特別養護老人ホームが職員不足で閉鎖に追い込まれたりする事態が生じている。このままだと都市部を中心に「介護難民」が急増

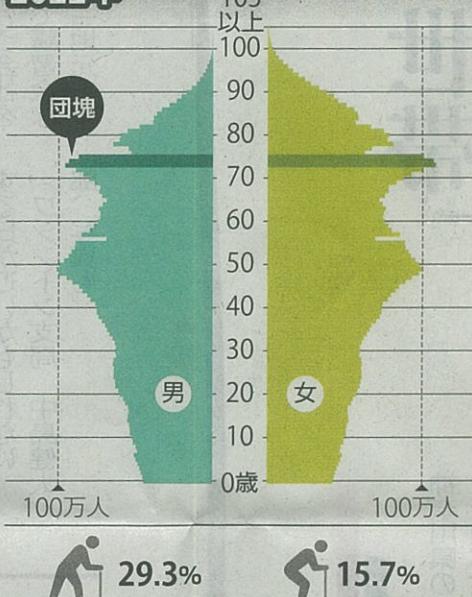
# 社会保障 「2022年危機」迫る

## 人口ピラミッドと団塊世代

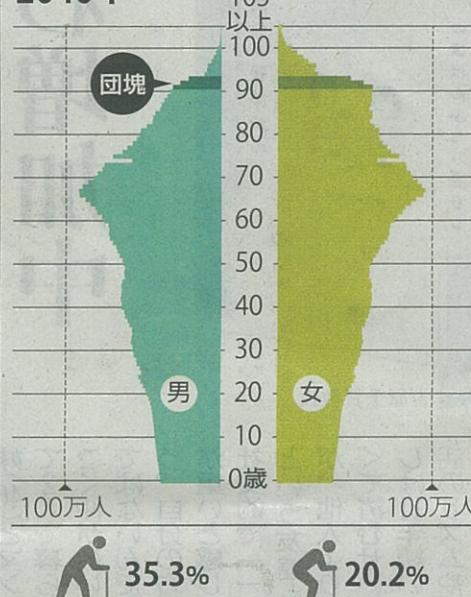
※1950年は国勢調査結果。2022、40年は国立社会保障・人口問題研究所の人口推計



## 2022年

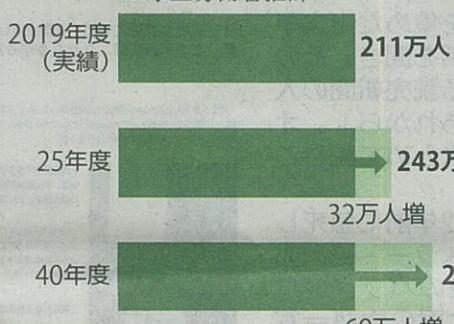


## 2040年



## 必要となる介護職員数

※厚生労働省推計



→ 32万人増  
69万人増

## 後期高齢医療制度課



2008年 75歳以上が加入する後期高齢者医療制度始まる

2000年 介護保険始まる

2019年 消費税10%に

2019年 消費税10%に